

## 西日本集中豪雨被害に対応する教区の報告と皆さまへのお願い事項

2018年7月22日

高松教区司教 諏訪榮治郎

この度、日本全土を襲った集中豪雨によって広島、岡山、愛媛県は特に甚大な被害をこうむり、200名を超える方々が犠牲となり、生きる場を失われた多くの人々が苦しい避難生活を余儀なくされております。この状況にカリタスジャパンと大阪教会管区は連携し、救援活動をもって連携することを申し合わせました。同時にフランシスコ教皇よりお見舞いの言葉と被災された方々への義援金が届けられましたことを報告申し上げます。よって当教区は愛媛県の甚大な被害に鑑み、以下の救援活動に関する事項を教区の皆さまにお知らせし、被災された方々への一日も早い復興を願いつつ、以下の通りご協力を仰ぐ次第です。よろしくお願い申し上げます。

### (1) 災害救援募金

現在、当教区には東日本大震災時より「高松教区サポートセンター(TSC)」が開設され、皆様から救援金として東日本救援活動に充てられておりますが、このたびの救援対応のため(TSC)から一部を救援活動費として使わせていただきたく承認を求める次第です。カリタスジャパンは必要に応じて当教区(TSC)に救援金として援助金を提供する運びとなっております。つきましては各小教区でなされている救援募金を、カリタスジャパンに振り込んでいただきたくお願い申し上げます。

募金受付口座番号は「ボランティアセンター組織図」にあります。

### (2) 「救援ボランティアセンター」の開設

① 愛媛県南予の宇和島教会では、断水による生活不便に直面しておられる方々に対して「お風呂」等の提供を始めておられました。教区として西予市社会福祉協議会のもと野村地区の救援に携わることを考えております。その折、ボランティアの宿泊の場として、ある信徒の家族が「空き家」を提供してくださいました。宇和島駅に近いこの家を「救援ボランティアセンター」として使わせていただくこととなりました。愛媛地区の「救援ボランティアセンター」は宇和島教会のもと7月下旬から運用いたします。

② 援助物資等 に関して教区に要請が入り次第、ファックスにて連絡させていただきます。また各種メディアによる救援物資の要請には随時任意でお応えください。

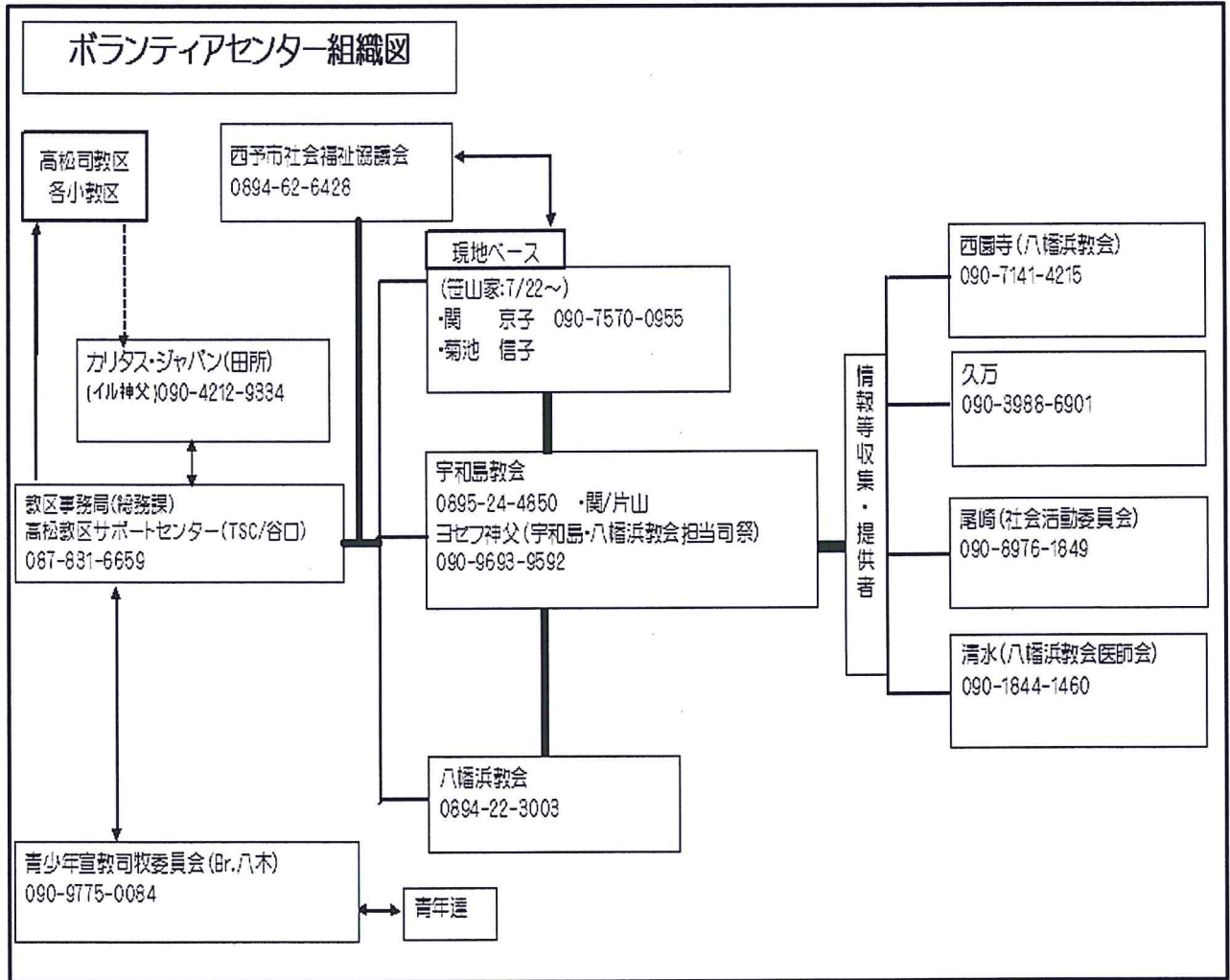
### (3) ボランティアに参加希望される方

① 「高松教区災害援助ボランティア募集」(青少年委員会 Br.八木 発行)を併せて参照ください。西予市野村地区のみならず、被災地救援ボランティアの参加する方々は、自己管理でお願いいたします。猛暑の中十分に体調を配慮して参加ください。

② 教区としてボランティア保険(カリス)に入っておりますので、参加希望者は教区本部か Br.八木(青少年委員会)に事前にご一報ください。また交通費等、補助が必要な方は相談をお受けいたします。詳しくは Br.八木にお問い合わせください。

### (4) ボランティアセンター組織図

「ボランティアセンター」に関する組織図を掲載いたします。ご参照ください。



○カリタスジャパン

西日本豪雨災害 緊急救援募金について

カリタスジャパンは、この西日本豪雨災害による被災者の救援活動を行っていくため、救援募金の受付を開始いたします。お寄せ頂いた募金は、被災地の教区と連携して推進する救援活動のために活用させていただきます。

募金受付口座は次のとおりです。

郵便振替番号 : 00170-5-95979

加入者名 : カトリック中央協議会カリタスジャパン

通信欄に、「西日本豪雨災害」とご明記ください。

## (1) 高松教区司教座聖堂（桜町教会）耐震工事等に伴う「聖堂使用の件」

7月14日（土）司教座聖堂耐震工事に関する、第一回「建設委員会」が行われました。聖堂の耐震工事に伴い、聖堂内外およびカトリック四国会館のリフォームも必要であろうとの見解で合意いたしました。会議後、桜町教会委員より、日本各地で毎週のように起こる地震発生から、聖堂への危険性と崩壊時における責任の所在を危惧する声があり、聖堂使用を危ぶみ早急に「聖堂使用禁止」を提案する声が上がりました。この提案はあくまで、会議後の「私的な談話の範囲」と受け止めます。次回の第2回「建設委員会」にて聖堂使用について、中島設計事務所を交えて検討いたします。よって「聖堂使用禁止」は現在は決定事項ではありません。

ただ、幼稚園児が聖堂を使用するにおいて、十二分な配慮を幼稚園側をお願いしております。

## (2) 桜町教会・番町教会の合同ミサについて

8月に入り、主日のミサを桜町教会・番町教会「合同ミサ」を頻繁にささげることとなります。

これは高知地区（5教会）の司祭不足からの課題としてあり、4月から検討されていたことです。

高知地区へ毎週1名の司祭を東讃ブロックから派遣します。これは、協力宣教の姿です。東讃ブロックも高知地区も「合同ミサ」「集会祭儀」が行われていきます。教会を「建物」としてではなく、互いに交わり、支え合う「信仰共同体」としての在り方を学んでいくことを大切にいたしましょう。